

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

KH1-Hyundai
August 27, 2003
B3ICB LLP
703-205-8000
2091-0287P
1 OF 1

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 8月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-246989

[ST.10/C]:

[JP2002-246989]

出 願 人

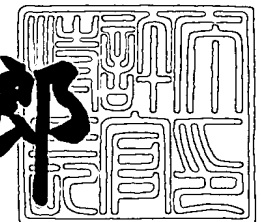
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

2003年 4月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

太田 信一郎



出証番号 出証特2003-3028637

【書類名】 特許願

【整理番号】 P26947J

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【国際特許分類】 H04N 9/64
H04N 1/23

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 片山 健志

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県黒川郡大和町松坂平 1 丁目 6 番地 富士フイルムマイクロデバイス株式会社内

【氏名】 橋本 正光

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県黒川郡大和町松坂平 1 丁目 6 番地 富士フイルムマイクロデバイス株式会社内

【氏名】 庭野 浩之

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代理人】

【識別番号】 100073184

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像選択方法および装置並びにプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、

一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示し、

前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示することを特徴とする画像選択方法。

【請求項 2】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、

一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示し、

前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示することを特徴とする画像選択方法。

【請求項 3】 前記選択状況情報を変更する前に、該選択状況情報の表示態様を変更することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像選択方法。

【請求項 4】 前記選択状況情報が変更されたことを表す音声を出力することを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか 1 項記載の画像選択方法。

【請求項 5】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、一の画像の表示中に該一の画像の選択または非選択の指示があると、該一の画像に選択および非選択の状

況を表す選択状況情報を付与し、該一の画像の次画像を表示することを特徴とする画像選択方法。

【請求項 6】 付与される前記選択状況情報に応じた音声を出力することを特徴とする請求項 5 記載の画像選択方法。

【請求項 7】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択装置において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示し、前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示する選択手段を備えたことを特徴とする画像選択装置。

【請求項 8】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択装置において、前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示し、前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示する選択手段を備えたことを特徴とする画像選択装置。

【請求項 9】 前記選択手段は、前記選択状況情報を変更する前に、該選択状況情報の表示態様を変更する手段であることを特徴とする請求項 7 または 8 記載の画像選択装置。

【請求項 10】 前記選択手段は、前記選択状況情報に変更されたことを表す音声を出力する手段であることを特徴とする請求項 7 から 9 のいずれか 1 項記載の画像選択装置。

【請求項 11】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択装置において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、一の画像の表示中に該一の画像の選択または非選択の指示があると、該一の画像に選択および非選択の状

況を表す選択状況情報を付与し、該一の画像の次画像を表示する選択手段を備えたことを特徴とする画像選択装置。

【請求項 1 2】 前記選択手段は、付与される前記選択状況情報に応じた音声を出力する手段であることを特徴とする請求項 1 1 記載の画像選択装置。

【請求項 1 3】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法をコンピュータに実行させるためのプログラムにおいて、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示する手順と、

一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示する手順と、

前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示する手順とを有するプログラム。

【請求項 1 4】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法をコンピュータに実行させるためのプログラムにおいて、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示する手順と、

一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示する手順と、

前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示する手順とを有するプログラム。

【請求項 1 5】 前記選択状況情報を変更する前に、該選択状況情報の表示態様を変更する手順をさらに有する請求項 1 3 または 1 4 記載のプログラム。

【請求項 1 6】 前記選択状況情報に変更されたことを表す音声を出力する手順をさらに有する請求項 1 3 から 1 5 のいずれか 1 項記載のプログラム。

【請求項 1 7】 複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法をコンピュータに実行させるためのプログラムにおいて、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、一の画像の表示中に該一の画像の選択または非選択の指示があると、該一の画像に選択および非選択の状

況を表す選択状況情報を付与し、該一の画像の次画像を表示する手順を有するプログラム。

【請求項 1 8】 付与される前記選択状況情報に応じた音声を出力する手順をさらに有する請求項 1 7 記載のプログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数の画像をテレビ等のモニタに表示して所望とする画像を選択する画像選択方法および装置並びに画像選択方法をコンピュータに実行させるためのプログラムに関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

DVDプレーヤーは、DVDに記録された映画を家庭用のテレビにおいて再生したり、CDに記録された音楽を再生して楽しむことができる。一方、DVDやCD等のメディアに記録された静止画像を表す静止画像データをDVDプレーヤーにより表示することも可能となってきた。これにより、デジタルカメラにより取得した画像データや、フィルムに記録された画像を読み取ることにより得た画像データをメディアに記録すれば、自身が撮影した画像を家庭用のテレビに表示して家族や友人とともに楽しむことができる。

【 0 0 0 3 】

また、インターネットに接続するウェブブラウザの機能を有するDVDプレーヤーも提供されている。このようにDVDプレーヤーがウェブブラウザの機能を有する場合、ユーザはテレビによりインターネットを楽しむことができる。また、画像データを用いたプリントサービスを提供する写真店のウェブサイトにアクセスし、ユーザが取得した静止画像データについてのプリントサービス、アルバム作成サービス、保管サービス等のネットワークプリントサービスを受けることができる。

【 0 0 0 4 】

ところで、メディアには複数の静止画像データを記録することができるが、上

述したプリントサービス等を依頼する場合には、これらの複数の静止画像データから再生するまたはサービスの提供を依頼する静止画像データを選択する必要がある。このため、複数の静止画像データにより表される画像のサムネイル画像を生成してこれを一覧画面に含めてテレビに表示し、DVDプレーヤーのリモコンの上下左右キーおよび決定キーを操作して画像の選択および選択の決定を行うようにしている。

【 0 0 0 5 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、DVDプレーヤーを用いての画像の表示は、パソコンとは異なり比較的にリラックスした状態で行うことが多い。このため、リモコンの小さなキーを何度も操作して画像の選択を行う作業は非常に煩わしいものとなる。

【 0 0 0 6 】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、画像の選択作業を簡易に行うようにすることを目的とする。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段】

本発明による第1の画像選択方法は、複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、

一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示し、

前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示することを特徴とするものである。

【 0 0 0 8 】

本発明による第2の画像選択方法は、複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、

一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示し、

前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示することを特徴とするものである。

【 0 0 0 9 】

「所定の順序」としては、ファイル名の昇順、降順、撮影日時の昇順、降順等を用いることができる。

【 0 0 1 0 】

「選択状況情報」とは、画像が選択されているか非選択であるかを表す情報であり、第1または第2の画像選択方法においては、画像の表示時にこの選択状況情報が画像に付与される。例えば、画像が選択されている場合には○、非選択の場合には×が記されたアイコン等が画像に付与されて表示される。なお、これと同時に画像を表す画像データのタグ情報に選択状況を記述することが好ましい。

【 0 0 1 1 】

「選択状況情報を変更する」とは、選択状況情報が画像の選択を表すものである場合には非選択を表すものとし、選択状況情報が画像の非選択を表すものである場合には選択を表すものとするをいう。

【 0 0 1 2 】

なお、本発明による第1または第2の画像選択方法においては、前記選択状況情報を変更する前に、該選択状況情報の表示態様を変更するようにしてもよい。

【 0 0 1 3 】

「表示態様を変更する」とは、選択状況情報が変更されることが画像の選択指示を行っているユーザに分かるようにするものであり、例えば選択状況情報を点滅表示させたり、色を変更したりすることをいう。

【 0 0 1 4 】

また、本発明による第1または第2の画像選択方法においては、前記選択状況情報が変更されたことを表す音声を出力するようにしてもよい。

【 0 0 1 5 】

本発明による第 3 の画像選択方法は、複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択方法において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、一の画像の表示中に該一の画像の選択または非選択の指示があると、該一の画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与し、該一の画像の次画像を表示することを特徴とするものである。

【 0 0 1 6 】

なお、本発明による第 3 の画像選択方法においては、付与される前記選択状況情報に応じた音声を出力するようにしてもよい。

【 0 0 1 7 】

本発明による第 1 の画像選択装置は、複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択装置において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示し、前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示する選択手段を備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 8 】

本発明による第 2 の画像選択装置は、複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択装置において、前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、前記各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与して表示し、一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更して前記次画像を表示し、前記所定時間以内に前記次画像の表示指示がなかった場合には、前記一の画像の選択状況情報を変更することなく前記次画像を表示する選択手段を備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 1 9 】

なお、本発明による第 1 または第 2 の画像選択装置においては、前記選択手段

を、前記選択状況情報を変更する前に、該選択状況情報の表示態様を変更する手段としてもよ。

【 0 0 2 0 】

また、本発明による第 1 または第 2 の画像選択装置においては、前記選択手段を、前記選択状況情報に変更されたことを表す音声を出力する手段としてもよい。

【 0 0 2 1 】

本発明による第 3 の画像選択装置は、複数の画像について選択および非選択の指示を行う画像選択装置において、

前記複数の画像を所定の順序で順次表示するに際し、一の画像の表示中に該一の画像の選択または非選択の指示があると、該一の画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報を付与し、該一の画像の次画像を表示する選択手段を備えたことを特徴とするものである。

【 0 0 2 2 】

なお、本発明による第 3 の画像選択装置においては、前記選択手段を、付与される前記選択状況情報に応じた音声を出力する手段としてもよい。

【 0 0 2 3 】

なお、本発明による第 1 から第 3 の画像選択方法をコンピュータに実行させるためのプログラムとして提供してもよい。

【 0 0 2 4 】

【発明の効果】

本発明の第 1 の画像選択方法および装置によれば、複数の画像が所定の順序で順次表示されるが、その際、各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報が付与される。そして、一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、一の画像の選択状況情報が変更されることなく次画像が表示される。一方、所定時間以内に次画像の表示指示がなかった場合には、一の画像の選択状況情報が変更されて次画像が表示される。

【 0 0 2 5 】

また、本発明の第 2 の画像選択方法および装置によれば、複数の画像が所定の

順序で順次表示されるが、その際、各画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報が付与される。そして、一の画像の表示後所定時間以内に次画像の表示指示があった場合には、一の画像の選択状況情報が変更されて次画像が表示される。一方、所定時間以内に次画像の表示指示がなかった場合には、一の画像の選択状況情報が変更されることなく次画像が表示される。

【 0 0 2 6 】

このように、画像の選択を行うユーザは、次画像の表示指示を行うあるいは所定時間待ちさえすれば、画像の選択状況情報が変更されるため、少ない操作により画像の選択および非選択を指示することができ、その結果、画像選択時におけるユーザの負担を軽減することができる。

【 0 0 2 7 】

また、選択状況情報を変更する前に選択状況情報の表示態様を変更することにより、ユーザは表示中の画像について選択状況情報が変更されることを容易に知ることができる。

【 0 0 2 8 】

また、選択状況情報が変更される際に音声を出力することにより、ユーザは表示中の画像について選択状況情報が変更されることを容易に知ることができる。

【 0 0 2 9 】

本発明の第 3 の画像選択方法および装置によれば、複数の画像が所定の順序で順次表示されるが、その際、一の画像の表示中にその一の画像の選択または非選択の指示があると、その一の画像に選択および非選択の状況を表す選択状況情報が付与され、次画像が表示される。

【 0 0 3 0 】

このように、画像の選択を行うユーザは、表示中の画像の選択または非選択の指示を行いさえすれば、画像の選択状況情報が付与されて次画像が表示されるため、少ない操作により画像の選択および非選択を指示することができ、その結果、画像選択時におけるユーザの負担を軽減することができる。

【 0 0 3 1 】

また、付与される選択状況情報に応じた音声を出力することにより、ユーザは

表示中の画像について選択および非選択とされた旨を容易に知ることができる。

【 0 0 3 2 】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。図 1 は本発明の第 1 の実施形態による画像選択装置を適用した DVD プレーヤーの構成を示す概略ブロック図である。図 1 に示すように、第 1 の実施形態による DVD プレーヤー 1 は、メディア M の挿入を受け付けてメディア M に記録された動画像データ、静止画像データおよび音声データ等を読み出すメディアドライブ 1 1 と、動画像データ、静止画像データおよび音声データをデコードするデコーダー 1 2 と、動画像データ、静止画像データおよび音声データを再生等するためのプログラムや種々の情報を記録した ROM 1 3 と、種々のデータを一時的に記憶したり、処理の作業領域となる RAM 1 4 と、リモコン 1 5 からの操作を受け付ける受信部 1 6 と、テレビ 3 を接続するためのテレビ端子 1 7 と、メモ리카ードリーダー、ハードディスク、プリンタ、通信インターフェース 3 1 等の外部機器を接続するための USB、IEEE 等の規格からなる入出力端子 1 8 と、後述するように静止画像データ S 0 の選択を行う画像選択手段 2 1 と、メディアドライブ 1 1、デコーダー 1 2、ROM 1 3、RAM 1 4、受信部 1 6、テレビ端子 1 7、入出力端子 1 8 および画像選択手段 2 1 を制御する CPU 1 9 とを備える。

【 0 0 3 3 】

メディア M にはパソコン 4 において、デジタルカメラ 5 により取得された複数の静止画像データ S 0 が記録される。

【 0 0 3 4 】

ここで、メディア M に記録される動画像データ、静止画像データ S 0 および音声データは、それぞれ MPEG、JPEG 等の形式により圧縮されている。デコーダー 1 2 は、メディア M に記録された圧縮された動画像データ、静止画像データ S 0 および音声データを解凍し、再生のためにテレビ端子 1 7 に入力するものである。なお、動画像データ、静止画像データ S 0 および音声データのそれぞれについて専用のデコーダー 1 2 を設けてもよいが、装置の小型化および低コスト化の観点から、動画像データ、静止画像データ S 0 および音声データで兼用のデ

コーダー 1 2 を設けることが好ましい。また、動画像データの再生時には、画像と音声とを別個にデコードする必要がある場合があるため、動画像データ用のデコーダー 1 2 と、音声データおよび静止画像データ用のデコーダー 1 2 とを設けることが好ましい。

【 0 0 3 5 】

ROM 1 3 には、DVD プレーヤー 1 の動作プログラムが記録される。この動作プログラムは、データの再生を CPU 1 9 に行わせるものであり、その操作はリモコン 1 5 を用いて行われる。

【 0 0 3 6 】

ここで、データの再生が指示された場合には、再生するデータをユーザに選択させる画面がテレビ 3 に表示され、ユーザがリモコン 1 5 により選択したデータをテレビ 3 に再生するように、メディアドライブ 1 1、デコーダー 1 2 および CPU 1 9 がプログラムにより駆動される。

【 0 0 3 7 】

例えば、ユーザが動画像データを記録したメディア M をメディアドライブ 1 1 に挿入して動画像データの再生の指示を行った場合には、メディアドライブ 1 1 によりメディア M に記録された動画像データが読み出され、デコーダー 1 2 によりデコードされる。そして、デコードされた動画像データがテレビ端子 1 7 から出力されてテレビ 3 に動画像が再生される。

【 0 0 3 8 】

また、ユーザが静止画像データ S 0 を記録したメディア M をメディアドライブ 1 1 に挿入して静止画像データ S 0 の再生の指示を行った場合には、メディアドライブ 1 1 によりメディア M に記録された静止画像データ S 0 が読み出され、デコーダー 1 2 によりデコードされる。そして、デコードされた静止画像データ S 0 がテレビ端子 1 7 から出力されてテレビ 3 に静止画像が再生される。なお、複数の静止画像データ S 0 がメディアに記録されている場合には、複数の静止画像データ S 0 をサムネイル表示し、ここで選択されたサムネイル画像に対応する静止画像データ S 0 を再生する。

【 0 0 3 9 】

また、ユーザが音声データを記録したメディアMをメディアドライブ11に挿入して音声データの再生の指示を行った場合には、メディアドライブ11によりメディアMに記録された音声データが読み出され、デコーダー12によりデコードされる。そして、デコードされた音声データがテレビ端子17から出力されてテレビ3において音声再生される。なお、入出力端子18にステレオやスピーカーを接続し、ステレオやスピーカーにより音声を再生するようにしてもよい。

【0040】

また、ROM13にはウェブブラウザが記憶されており、リモコン15からの操作によりウェブブラウザを操作して入出力端子18に接続された通信インターフェース31によりインターネット32に接続し、写真店が運営するウェブサイト33にアクセスして、静止画像データS0についてのプリント注文、アルバム作成および静止画像データS0の保管等のネットワークプリントサービスをウェブサイト33に依頼することができる。

【0041】

なお、ROM13に代えて、専用チップによりデータの再生やインターネット32への接続を行うようにしてもよい。

【0042】

RAM14は、種々のデータを一時的に記憶したり、処理の作業領域となる。

【0043】

リモコン15は、上下左右キー15A～15D、決定キー15Eおよびその他のキーを有し、ユーザがキーを押下することによりそのキーに付与された指示を表す信号を受信部16に送信する。

【0044】

受信部16は、リモコン15から送信された、ユーザにより操作された操作内容を表す信号を受信し、操作内容に応じてDVDプレーヤー1を駆動する指示をCPU19に入力する。ここで、リモコン15により、動画像データ、静止画像データS0および音声データの再生、後述する画像の選択並びに種々の設定等、DVDプレーヤー1の全ての操作を行うことができる。

【0045】

画像選択手段 2 1 は、メディア M に記録された複数の静止画像データ S 0 からユーザが所望とする静止画像データ S 0 を選択する。以下、静止画像データ S 0 の選択時に行われる処理について説明する。図 2 は、第 1 の実施形態において静止画像データ S 0 の選択時に行われる処理を示すフローチャートである。なお、ここでは、複数の静止画像データ S 0 が記録されたメディア M がメディアドライブ 1 1 に挿入され、静止画像データ S 0 の再生や選択等を行う指示画面がテレビ 3 に表示されているものとする。

【 0 0 4 6 】

まず、指示画面において静止画像データ S 0 の選択の指示が行われたか否かが判定され（ステップ S 1）、ステップ S 1 が否定されると指示画面において選択された指示に応じた処理が行われ（ステップ S 2）、処理を終了する。ステップ S 1 が肯定されると、ファイル名が先頭の静止画像データ S 0 がメディアドライブ 1 1 から読み出され（ステップ S 3）、デコーダー 1 2 によりデコードされて（ステップ S 4）、テレビ端子 1 7 から出力されてテレビ 3 に表示される（ステップ S 5）。

【 0 0 4 7 】

図 3 は、テレビ 3 に表示された静止画像データ S 0 を示す図である。図 3 に示すようにテレビ 3 に表示された静止画像データ S 0 により表される静止画像の右下部分には×印のアイコン 7 A が表示される。このアイコン 7 A は、表示中の静止画像データ S 0 が非選択状態であることを示すものである。

【 0 0 4 8 】

そして、静止画像がテレビ 3 に表示されるとタイマーが起動され（ステップ S 6）、予め定められた第 1 の所定時間（例えば 2. 5 秒）が経過したか否かが判定される（ステップ S 7）。

【 0 0 4 9 】

ステップ S 7 が否定されると、終了の指示がなされたか否かが判定され（ステップ S 8）、ステップ S 8 が肯定されると処理を終了する。ステップ S 8 が否定されると、次画像を表示すべく右キー 1 5 D が押下されたか否かが判定される（ステップ S 9）。ステップ S 9 が否定されるとステップ S 7 に戻る。ステップ S

9 が肯定されると、次画像を表示するために現在表示中の静止画像データ S 0 の次のファイル名を有する静止画像データ S 0（次の静止画像データ S 0 とする）がメディア M から読み出され（ステップ S 1 0）、ステップ S 4 に戻りステップ S 4 以降の処理が行われ、次の静止画像データ S 0 がテレビ 3 に表示される。なお、ファイル名が最後の静止画像データ S 0 が表示中の場合には、次の静止画像データ S 0 は先頭の静止画像データ S 0 となる。

【 0 0 5 0 】

ステップ S 7 が肯定されると、アイコン 7 A が点滅され（ステップ S 1 1）、静止画像データ S 0 が表示されてからさらに第 2 の所定時間（例えば 3 秒）が経過したか否かが判定される（ステップ S 1 2）。ステップ S 1 2 が否定されるとステップ S 8 に進み、ステップ S 8 以降の処理が行われる。ステップ S 1 2 が肯定されると、×印のアイコン 7 A が図 4 に示すように○印のアイコン 7 B に切り替えられ、表示中の静止画像データ S 0 は選択状態とされる（ステップ S 1 3）。そして、表示中の静止画像データ S 0 が選択された旨の音声が出力され（ステップ S 1 4）、ステップ S 1 0 に進み、ステップ S 1 0 以降の処理が行われ、次の静止画像データ S 0 がテレビ 3 に表示される。

【 0 0 5 1 】

このように、第 1 の実施形態においては、静止画像データ S 0 の選択時において、テレビ 3 に静止画像データ S 0 を表示した際に、表示中の静止画像データ S 0 を選択しない場合には右キー 1 5 D を押下すれば次の静止画像データ S 0 が表示され、表示中の静止画像データ S 0 を選択する場合には、第 2 の所定時間待つことにより表示中の静止画像データ S 0 が選択状態とされ、次の静止画像データ S 0 が表示される。このため、静止画像データ S 0 の選択を行うユーザは、少ない操作により静止画像データ S 0 の選択および非選択を指示することができ、その結果、静止画像データ S 0 の選択時におけるユーザの負担を軽減することができる。

【 0 0 5 2 】

また、静止画像データ S 0 を選択状態とする前にアイコン 7 A を点滅しているため、ユーザは表示中の静止画像データ S 0 について選択状態とされることを容

易に知ることができる。

【 0 0 5 3 】

また、表示中の静止画像データ S 0 を選択状態とする際に音声を出力しているため、ユーザは表示中の静止画像データ S 0 について選択状態とされることを容易に知ることができる。

【 0 0 5 4 】

なお、上記第 1 の実施形態においては、静止画像データ S 0 を表示する際に×印のアイコン 7 A を付与して静止画像データ S 0 を非選択状態として表示しているが、○印のアイコン 7 B を付与して静止画像データ S 0 を選択状態として表示してもよい。この場合、ステップ S 1 3 においては○印のアイコン 7 B から×印のアイコン 7 A に切り替えられて、表示中の静止画像データ S 0 が非選択状態とされる。

【 0 0 5 5 】

次いで、本発明の第 2 の実施形態について説明する。図 5 は、第 2 の実施形態において行われる処理を示すフローチャートである。まず、指示画面において静止画像データ S 0 の選択の指示が行われたか否かが判定され（ステップ S 2 1）、ステップ S 2 1 が否定されると指示画面において選択された指示に応じた処理が行われ（ステップ S 2 2）、処理を終了する。ステップ S 2 1 が肯定されると、ファイル名が先頭の静止画像データ S 0 がメディアドライブ 1 1 から読み出され（ステップ S 2 3）、デコーダー 1 2 によりデコードされて（ステップ S 2 4）、テレビ端子 1 7 から出力されてテレビ 3 に表示される（ステップ S 2 5）。

【 0 0 5 6 】

そして、静止画像がテレビ 3 に表示されるとタイマーが起動され（ステップ S 2 6）、予め定められた第 1 の所定時間（例えば 2. 5 秒）が経過したか否かが判定される（ステップ S 2 7）。

【 0 0 5 7 】

ステップ S 2 7 が否定されると、終了の指示がなされたか否かが判定され（ステップ S 2 8）、ステップ S 2 8 が肯定されると処理を終了する。ステップ S 2 8 が否定されると、次画像を表示すべく右キー 1 5 D が押下されたか否かが判定

される（ステップ S 2 9）。ステップ S 2 9 が否定されるとステップ S 2 7 に戻る。ステップ S 2 9 が肯定されると、×印のアイコン 7 A が○印のアイコン 7 B に切り替えられ、表示中の静止画像データ S 0 は選択状態とされる（ステップ S 3 0）。そして、表示中の静止画像データ S 0 が選択された旨の音声が出力され（ステップ S 3 1）、次画像を表示するために現在表示中の静止画像データ S 0 の次のファイル名を有する静止画像データ S 0（次の静止画像データ S 0 とする）がメディア M から読み出され（ステップ S 3 1）、ステップ S 2 4 に戻りステップ S 2 4 以降の処理が行われ、次の静止画像データ S 0 がテレビ 3 に表示される。なお、ファイル名が最後の静止画像データ S 0 を表示中の場合には、次の静止画像データ S 0 は先頭の静止画像データ S 0 となる。

【 0 0 5 8 】

ステップ S 2 7 が肯定されると、アイコン 7 A が点滅され（ステップ S 3 3）、静止画像データ S 0 が表示されてからさらに第 2 の所定時間（例えば 3 秒）が経過したか否かが判定される（ステップ S 3 4）。ステップ S 3 4 が否定されるとステップ S 2 8 に進み、ステップ S 2 8 以降の処理が行われる。ステップ S 3 4 が肯定されると、ステップ S 3 2 に進み、ステップ S 3 2 以降の処理が行われ、次の静止画像データ S 0 がテレビ 3 に表示される。

【 0 0 5 9 】

このように、第 2 の実施形態においては、静止画像データ S 0 の選択時においてテレビ 3 に静止画像データ S 0 を表示した際に、表示中の静止画像データ S 0 を選択する場合には右キー 1 5 D を押下すれば表示中の静止画像データ S 0 が選択状態とされ、次の静止画像データ S 0 が表示される。また、表示中の静止画像データ S 0 を選択しない場合には、第 2 の所定時間待つことにより次の静止画像データ S 0 が表示される。このため、静止画像データ S 0 の選択を行うユーザは、少ない操作により静止画像データ S 0 の選択および非選択を指示することができ、その結果、静止画像データ S 0 の選択時におけるユーザの負担を軽減することができる。

【 0 0 6 0 】

なお、上記第 1 および第 2 の実施形態においては左キー 1 5 C を押下すること

により、現在表示中の静止画像データ S 0 より以前の静止画像データ S 0 を表示することができる。この際、以前の静止画像データ S 0 には選択状態を表すアイコン 7 A または 7 B が付与されている。この状態においては、上キー 1 5 A または下キー 1 5 B を押下することにより、表示中の静止画像データ S 0 の選択および非選択を切り替えることができる。

【 0 0 6 1 】

次いで、本発明の第 3 の実施形態について説明する。図 6 は第 3 の実施形態において行われる処理を示すフローチャートである。まず、指示画面において静止画像データ S 0 の選択の指示が行われたか否かが判定され（ステップ S 4 1）、ステップ S 4 1 が否定されると指示画面において選択された指示に応じた処理が行われ（ステップ S 4 2）、処理を終了する。ステップ S 4 1 が肯定されると、ファイル名が先頭の静止画像データ S 0 がメディアドライブ 1 1 から読み出され（ステップ S 4 3）、デコーダー 1 2 によりデコードされて（ステップ S 4 4）、テレビ端子 1 7 から出力されてテレビ 3 に表示される（ステップ S 4 5）。

【 0 0 6 2 】

図 7 は、テレビ 3 に表示された静止画像を示す図である。図 7 に示すようにテレビ 3 に表示された静止画像の右下部分には？印のアイコン 7 C が表示される。このアイコン 7 C は、表示中の静止画像データ S 0 が選択も非選択もされていないことを表すものである。そして、右キー 1 5 D が押下されたか否かが判定され（ステップ S 4 6）、ステップ S 4 6 が肯定されると表示中の静止画像データ S 0 を非選択とする旨の情報が静止画像データ S 0 に付与され（ステップ S 4 7）、さらに非選択とされた旨を表す音声出力される（ステップ S 4 8）。なお、非選択とする旨の情報は静止画像データ S 0 のタグ情報に記述される。

【 0 0 6 3 】

次いで、次画像を表示するために現在表示中の静止画像データ S 0 の次のファイル名を有する静止画像データ S 0 （次の静止画像データ S 0 とする）がメディア M から読み出され（ステップ S 4 9）、ステップ S 4 4 に戻りステップ S 4 4 以降の処理が行われ、次の静止画像データ S 0 がテレビ 3 に表示される。なお、ファイル名が最後の静止画像データ S 0 を表示中の場合には、次の静止画像デー

タ S 0 は先頭の静止画像データ S 0 となる。

【 0 0 6 4 】

一方、ステップ S 4 6 が否定されると、決定キー 1 5 E が押下されたか否かが判定され（ステップ S 5 0）、ステップ S 5 0 が肯定されると表示中の静止画像データ S 0 を選択する旨の情報が静止画像データ S 0 に付与され（ステップ S 5 1）、さらに選択された旨を表す音声が出力される（ステップ S 5 2）。この場合の音声はステップ S 4 8 において出力される音声とは異なるものとなる。次いで、次画像を表示するためにステップ S 4 9 に進み、ステップ S 4 9 以降の処理が行われ、次の静止画像データ S 0 がテレビ 3 に表示される。

【 0 0 6 5 】

なお、ステップ S 5 0 が否定されると終了の指示がなされたか否かが判定され（ステップ S 5 4）、ステップ S 5 4 が肯定されると処理を終了する。ステップ S 5 4 が否定されるとステップ S 4 6 に戻り、ステップ S 4 6 以降の処理が行われる。

【 0 0 6 6 】

このように、第 3 の実施形態においては、静止画像データ S 0 の選択時において、テレビ 3 に静止画像データ S 0 を表示した際に、表示中の静止画像データ S 0 を選択しない場合には右キー 1 5 D を押下すれば次の静止画像データ S 0 が表示され、表示中の静止画像データ S 0 を選択する場合には、決定キー 1 5 E を押下することにより表示中の静止画像データ S 0 が選択状態とされ次の静止画像データ S 0 が表示される。このため、静止画像データ S 0 の選択を行うユーザは、少ない操作により静止画像データ S 0 の選択および非選択を指示することができ、その結果、静止画像データ S 0 の選択時におけるユーザの負担を軽減することができる。

【 0 0 6 7 】

また、表示中の静止画像データ S 0 を選択状態とする際に音声を出力しているため、ユーザは表示中の静止画像データ S 0 について選択状態とされることを容易に知ることができる。

【 0 0 6 8 】

なお、上記第 3 の実施形態においては左キー 1 5 C を押下することにより、現在表示中の静止画像データ S 0 より以前の静止画像データ S 0 を表示することができる。この際、以前の静止画像データ S 0 には選択状態を表すアイコン 7 A、7 B または選択も非選択もされていない状態を表すアイコン 7 C が付与されている。この状態においては、上キー 1 5 A または下キー 1 5 B を押下することにより、表示中の静止画像データ S 0 現在の選択および非選択を切り替えることができる。

【 0 0 6 9 】

なお、上記第 1 から第 3 の実施形態において、選択状態とされた静止画像データ S 0 は入出力端子 1 8 に接続された通信インターフェース 3 1 からインターネット 3 2 経由で写真店のウェブサイト 3 3 に送信され、ここで種々のプリントサービスに供される。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の第 1 の実施形態による画像選択装置を適用した DVD プレーヤーの構成を示す概略ブロック図

【図 2】

第 1 の実施形態において静止画像データの選択時に行われる処理を示すフローチャート

【図 3】

テレビに表示された静止画像データを示す図（その 1）

【図 4】

テレビに表示された静止画像データを示す図（その 2）

【図 5】

第 2 の実施形態において静止画像データの選択時に行われる処理を示すフローチャート

【図 6】

第 3 の実施形態において静止画像データの選択時に行われる処理を示すフローチャート

【図 7】

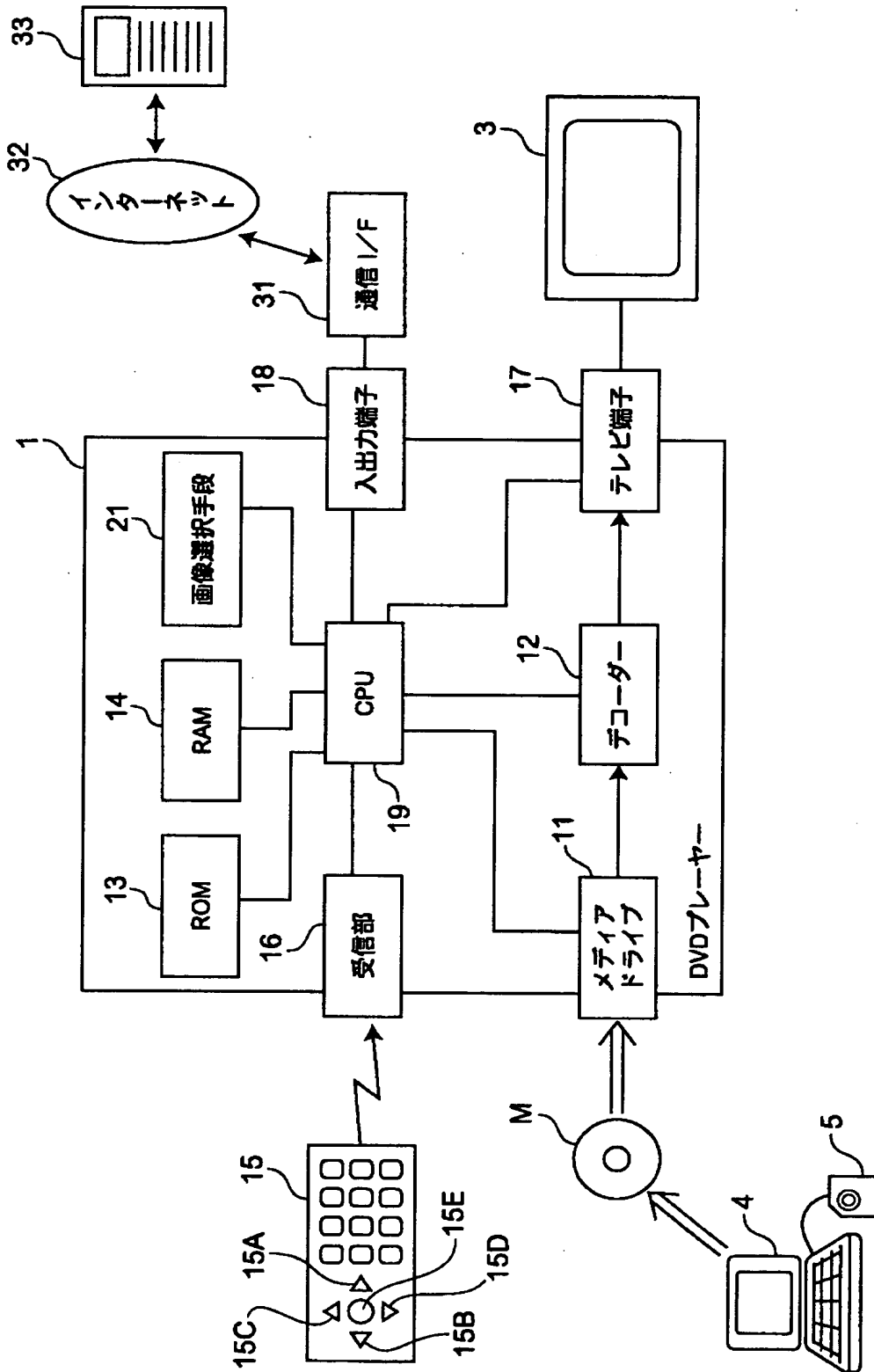
テレビに表示された静止画像データを示す図（その 3）

【符号の説明】

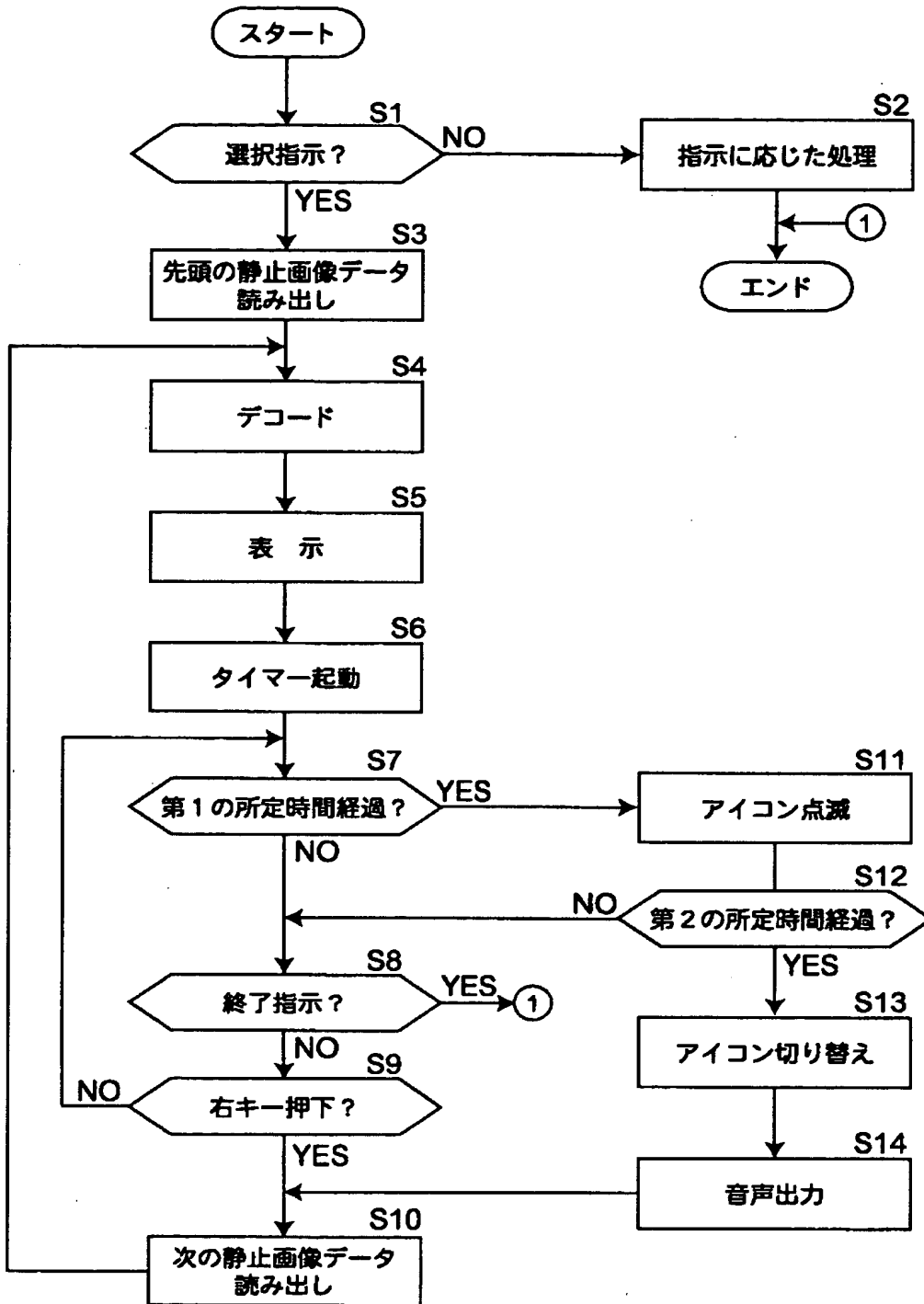
- 1 DVDプレーヤー
- 3 テレビ
- 4 パソコン
- 5 デジタルカメラ
- 1 1 メディアドライブ
- 1 2 デコーダー
- 1 3 ROM
- 1 4 RAM
- 1 5 リモコン
- 1 6 受信部
- 1 7 テレビ端子
- 1 8 入出力端子
- 1 9 CPU
- 2 1 画像選択手段

【書類名】 図面

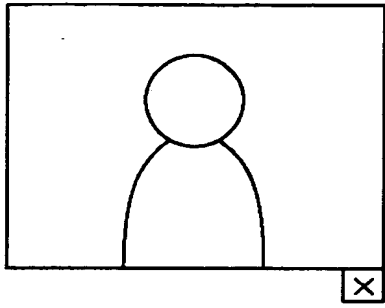
【図1】



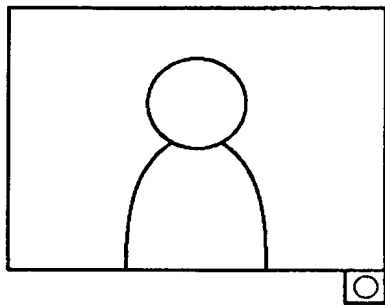
【図2】



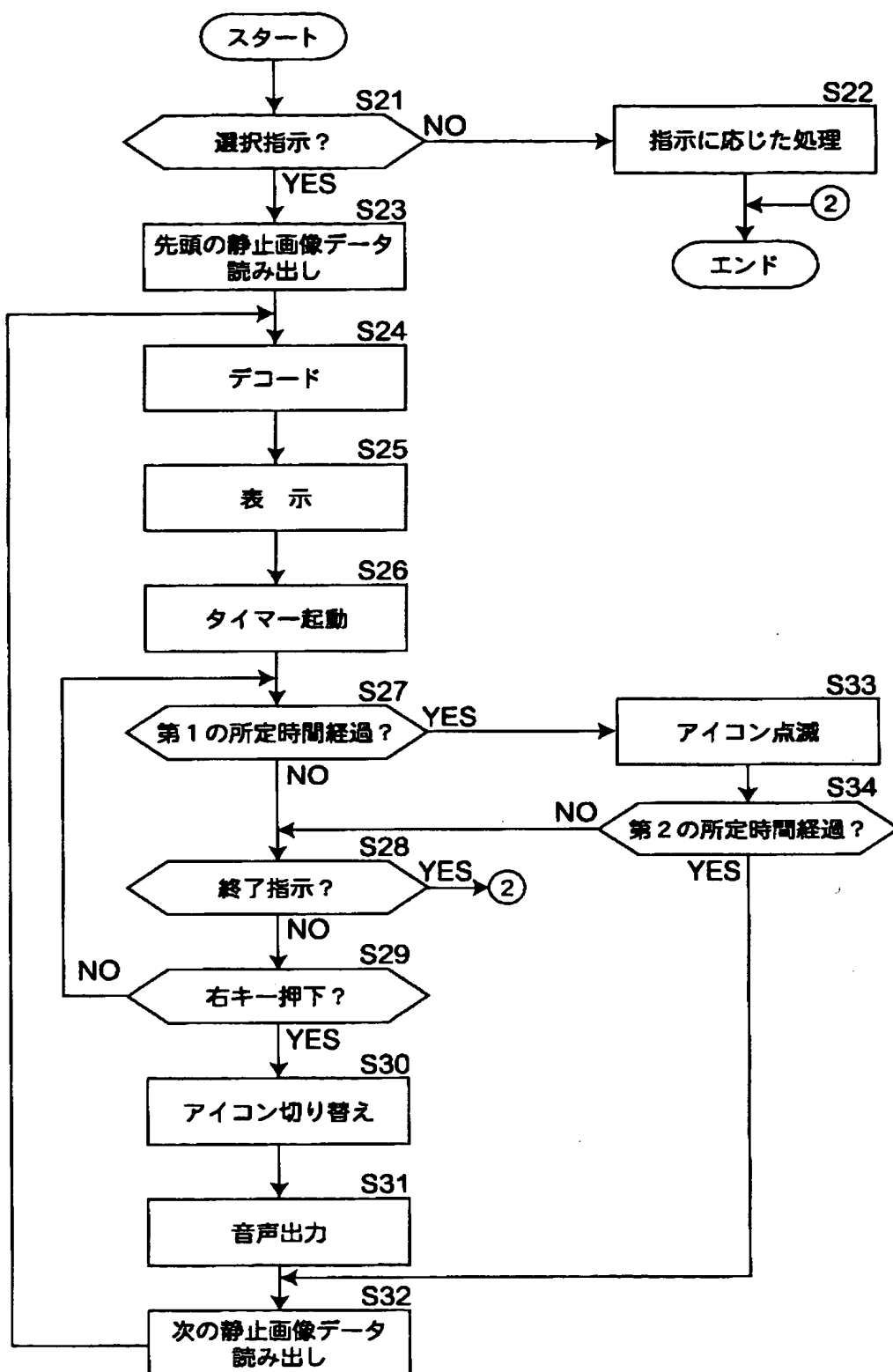
【図 3】



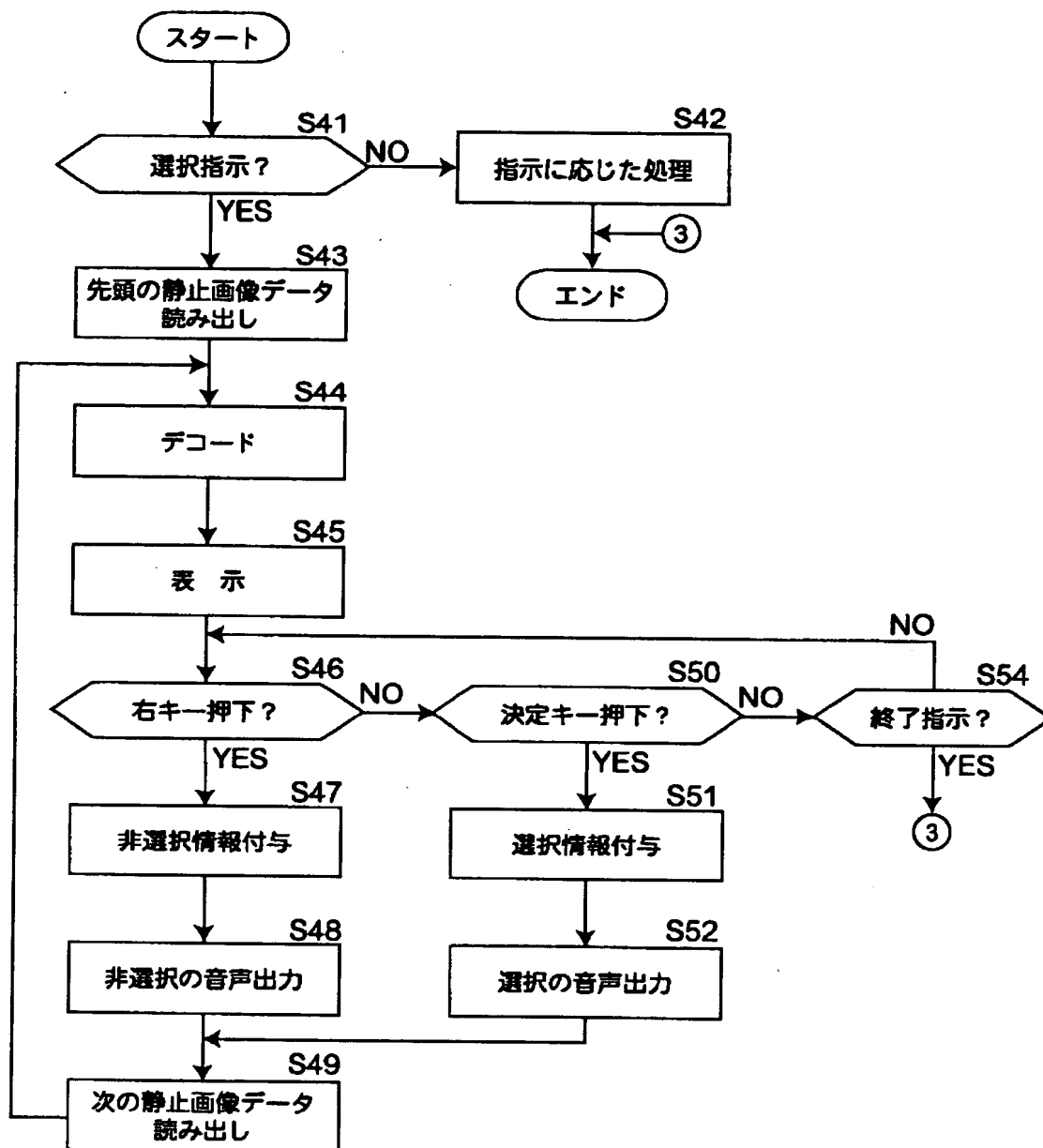
【図 4】



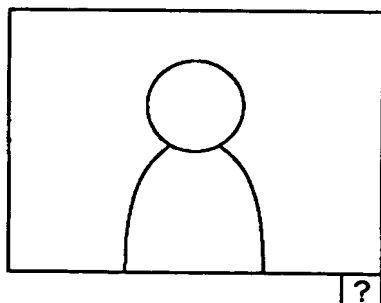
【図 5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 複数の画像から所望とする画像を選択する際の操作を簡易なものとする。

【解決手段】 メディアMからファイル名順に静止画像データS0を読み出しテレビ3に表示する。この状態においては、表示される全ての静止画像データS0は非選択状態とされている。一の静止画像データS0を表示してから所定時間リモコン15から指示がなされないと、表示中の静止画像データS0を選択状態とし、ファイル名が次の静止画像データS0を表示する。所定時間内にリモコン15から次のファイル名の静止画像データS0の表示指示がなされると、表示中の静止画像データS0をそのまま非選択状態として、ファイル名が次の静止画像データS0を表示する。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

特許出願の番号 特願2002-246989
受付番号 50201270613
書類名 特許願
担当官 第六担当上席 0095
作成日 平成14年 8月28日

<認定情報・付加情報>

【提出日】 平成14年 8月27日
【特許出願人】
【識別番号】 000005201
【住所又は居所】 神奈川県南足柄市中沼210番地
【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社
【代理人】 申請人
【識別番号】 100073184
【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3 新横
浜KSビル 7階
【氏名又は名称】 柳田 征史
【選任した代理人】
【識別番号】 100090468
【住所又は居所】 神奈川県横浜市港北区新横浜3-18-3 新横
浜KSビル 7階
【氏名又は名称】 佐久間 剛

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日 1990年 8月14日
[変更理由] 新規登録
住 所 神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名 富士写真フイルム株式会社